

子どもたちの未来に食の安心をつなぐ **国消国産**

私たちの**国**で消費する食べものは、できるだけこの**国**で生産する

その考え方を **国消国産** といいます。

乃木坂46は、国消国産を応援しています。

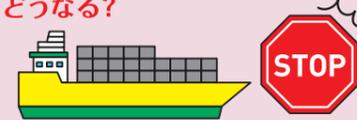


国消国産 で、日本の「食」に安心を!

私たちの食べものは、自然の力を活かし、多くの時間をかけて作られています。足りなくなったからといって、すぐに作ることはできません。でも、日本の「食」は今、多くのリスクを抱えています。

日本の「食」が直面している「5つのリスク」

食料の多くを輸入に頼る日本。輸入がもし止まったら、どうなる?



農家と農地が減っている。私たちの食べものは、どうなる?



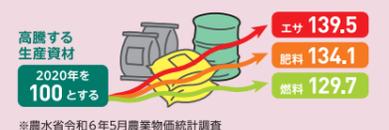
世界や日本で自然災害が増加。農業が受けるダメージは、どうなる?



増え続ける世界の人口と食料需要。輸入量に頼る日本は、どうなる?



高止まりする肥料・家畜のエサ・燃料。農家の経営は、どうなる?



自給力アップで、いざというとき安心!

おいしくて安全・安心な食事を実現!

国消国産 が日本の食の未来をつくりまします。

日本の農業を食べて応援できる!

輸送で出るCO₂を減らし、SDGsに貢献!



国産を食べると、いいこといっぱい!



メンバーが調理を楽しむ動画等を公開中! ぜひアクセスしてください!

乃木坂46 国消国産



JAグループ 耕そう、大地と地域の未来。

乃木坂46



まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

国産食材をおいしく食べよう! 10月16日は国消国産の日

国消国産とは、「国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する」という考え方です。

近年、食料自給率の低迷など、日本の食料を取り巻くリスクが高まっています。

今、私たちが「食べて農業を応援すること」が、日本の農業の持続と安全・安心な日本の食の未来につながります。



産地直送通販サイトのJAタウンでは10月1日から11月30日までの期間、「国消国産キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中、対象商品のお客様の送料負担がなしとなります。

本会運営の「いわて純情セレクト」では、ローストビーフなど株式会社いわちくの商品や岩手県産りんご、「銀河のしずく」などいわて純情米各商品などが対象商品となります。

詳しくはJAタウン「いわて純情セレクト」をご確認ください。



お客様の送料負担なし!

いわて純情セレクト

オススメ商品盛りだくさん! 詳しくはこちらから▶



※キャンペーンは途中で終了する場合があります。



岩手のローストビーフ食べ比べセット



岩手県産ジョナゴールド



銀河のしずく

◆ 全国初となる産地での実証開始

令和6年9月3日(火)

ピーマン自動収穫ロボット実証実験

本会は9月3日、紫波町にある先進園芸実証農場でピーマン自動収穫ロボットの実証実験を開始しました。

ロボットは、搭載カメラに映し出されたピーマンが収穫に適しているかをAI(人工知能)が判別し、アームについたハサミで収穫します。収穫作業を任せきりにできるため、人手をほかの作業に充てることができるのが利点です。

本会では3年後の実装を目指し、農場の施設化を含めた「ピーマン栽培パッケージ」としても県内への導入を進めたいと考えています。

園芸部生産振興戦略室の平坂健宏室長は「農業従事者の減少や人手不足、夏場の酷暑での作業といった課題があるなか、農場の施設化やロボットなど様々な技術の導入で安定的な生産と収入が見込める農業の構築を目指している。実証試験期間中は視察もできるので、まずは多くの生産者に収穫作業が自動化できることを実際に見ていただきたい」と話しました。視察は事前申し込みで受付けています。

● 申込先：JA全農いわて 園芸部 生産振興戦略室 TEL:(019)673-8066



農作業用レールの上を自走しながらピーマンを収穫するロボット



◆ 3部門の最高位賞が決定

令和6年9月4日(水)～6日(金)

岩手県畜産共進会開幕

一般社団法人岩手県畜産協会は9月4日から6日にかけて「第68回岩手県畜産共進会」の「黒毛和種」、「ホルスタイン種」、「日本短角種」の部をJA全農いわて中央家畜市場で開催しました。

同共進会は、岩手県内の家畜改良増殖を促進し、畜産農家が相互に研鑽を図ることを目的に毎年開催されていて、「黒毛和種」「ホルスタイン種」「日本短角種」「馬」「肉牛」の5部門があります。

本会では、和牛登録室が事務局を務め、登録審査や繁殖性、ならびに肉質の改良についてなどのアドバイスを行っています。高橋司県本部長は「生産資材や燃料が高騰するなか、子牛や食肉の価格低迷が続くなど、生産者は厳しい経営環境に置かれている。JAグループとしては全国大会に向けて、岩手県内関係機関が一致団結して取り組むことができればと思う」と全国大会への思いを語りました。

今年の共進会は11月9日までで、最終日は「肉牛」の部が行われ、その後総合閉会式が開催されます。各部門の農林水産大臣賞受賞者は以下のとおりです。



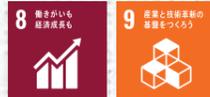
「黒毛和種」の部
佐々木 ミヨ子様(花巻市)
「あきふじみつく」



「ホルスタイン種」の部
外谷 辰也様(久慈市)
「ノースランドアマンスタンリーレクスス号」



「日本短角種」の部
佐々木 和時美様(岩泉町)
「よしひめ」



◆ 天津木村さんも純情産地いわてをPR

令和6年9月7日(土)～8日(日)

IBCまつり2024

IBC岩手放送主催「IBCまつり2024」が、滝沢市のツガワ未来館アピオ(岩手産業文化センター)で9月7日、8日の2日間にかけて開催されました。

7日には、屋内アリーナの特設ステージで「JA全農いわてステージ」が催され、純情産地いわて応援団長の天津木村さん、お笑い芸人コンビ「スカチャン」、2024いわて純情むすめらが会場を盛り上げました。

また、屋外附属展示場の「豚経連・牛経連」ブースでは、「いわて牛」と「いわて純情豚」の無料試食会と抽選会が行われました。試食会では、天津木村さんらも、来場者いわて牛の試食を手渡しました。盛岡市在住の男性は「柔らかく、肉の旨みが濃いと感じた。シンプルな調理法でも美味しく食べられそうなので、バーベキューなどで使ってみたい」と笑顔で話しました。

そのほか、屋内アリーナの「いわての牛乳」ブースでは、県内で販売されている牛乳の展示や、牛の種類や殺菌方法が異なる4種類の牛乳の飲み比べ体験が行われました。飲み比べをした滝沢市在住の女性は「殺菌方法や牛の種類をあまり気にしなかったのがなかったので、これから牛乳を買うときの参考にしたい」と話しました。



来場者に「いわて牛」の試食を手渡す天津木村さん



「いわての牛乳」の飲み比べ体験をする来場者



◆ いわてのお米で留学生を支援

令和6年9月9日(月)

AFS留学生 表敬訪問

本会では、社会貢献の一環として、公益財団法人AFS日本協会を通じて、留学生のホストファミリーに対して「いわて純情米」を提供しています。

公益財団法人AFS日本協会は、文部科学省予算事業「アジア高校生架け橋プロジェクトプラス」の実施団体になっており、日本の高校生の留学意欲や国際的素養の向上や、日本とアジア・G7メンバー国の架け橋となる人材の育成に資するため、各国高校生が日本の高校生と共に学び合う機会を提供しています。

AFS岩手支部では、岩手県の高校生の異文化交流の推進を目的に、これまで100名を越える留学生を受入れています。今年度は、スペイン出身のヤスミンさん(16歳)、ネパール出身のディビャさん(18歳)の2名の留学生を受け入れており、9月9日に盛岡市のサンビルを訪問しました。

留学生らは、熱心に日本語を勉強していて、母国のことや日本での生活の様子を語りました。ディビャさんは「ネパールのお米は細長い、日本のお米は粒が小さく丸い」と写真を見せながら説明しました。

留学生らは、ホストファミリーのもとで生活し、県内の高校に通学しています。ディビャさんは12月中旬まで、ヤスミンさんは来年7月まで滞在予定です。



左から2番目ヤスミンさん、3番目ディビャさん



2. SNS キャンペーン

X (旧 Twitter) を活用したキャンペーンを展開し、岩手県産米や佐々木朗希投手サイン入グッズが当たるキャンペーンを実施し、「いわて純情米」を広くPRします。

「いわて純情米で朗希もりキャンペーン」の実施

キャンペーン公式X



● 第一弾

- 応募期間：令和6年10月1日(火)～10月9日(水)
- 応募方法：Xでキャンペーン公式アカウントをフォロー・選択肢からポスト
- 景品：
 - 金色の風賞 2kg 30名様
 - 銀河のしずく賞 2kg 30名様
 - 佐々木朗希投手賞 サインボール 5名様

● 第二弾

- 応募期間：令和6年10月10日(木)～10月31日(木)
- 応募方法：Xでキャンペーン公式アカウントをフォロー&リポスト
- 景品：
 - 金色の風賞 2kg 40名様
 - 銀河のしずく賞 2kg 40名様
 - 金色の風・銀河のしずくセット賞 各2kg 30名様
 - 佐々木朗希投手賞 サインボール 15名様
 - サイン入レプリカキャップ 5名様
 - サイン入レプリカユニフォーム 5名様



3. 「銀河のしずく」コラボ料理の提供

創業100年以上の歴史を持つ東京都内の老舗料亭で「銀河のしずく」を使用したコラボメニューを提供します。

- 実施店舗：
 - 赤坂とや魚新
 - 所在地：東京都港区赤坂 5-1-34
 - 営業時間：昼 水～土 11:30～13:00 (L.O.)
 - 夜 火～土 18:00～19:00 (L.O.) ※夜は予約のみ
 - とよりのトトヤ (「赤坂とや魚新」姉妹店)
 - 所在地：東京都港区赤坂 4-3-12
 - 営業時間：昼 月～土 11:30～14:00 (L.O.)
 - 夜 月～土・祝 18:00～21:30 (L.O.)
- 提供内容：昼のコース・定食など全メニューのごはんに「銀河のしずく」を使用
夜のコース 季節の炊き込みご飯
- 提供期間：令和6年10月4日(金)～



INTRODUCTION

米穀部

いわて純情米 全国プロモーションの展開について

1. 令和6年産米の新プロモーション

本会は、岩手県出身でプロ野球・千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手を「いわて純情米」アンバサダーに任命し、これまでのブランドイメージを一新した「逸材を輩出する米どころ、いわて。」のキャッチコピーのもと、広告宣伝を展開しております。

令和6年産「いわて純情米」の販売促進と認知度向上を目的に、佐々木朗希投手を起用した全国規模のプロモーションを行います。キーワードは「#朗希もり」です。

● TV CM放送期間

関東・中京・関西：令和6年10月10日(木)～11月12日(火)
岩手県内：令和6年10月1日(火)～令和6年12月31日(火)

● WEB 動画 (TVer)

令和6年10月10日(木)～11月12日(火)



いわて純情米 TVCM 『朗希もり 編』





JA江刺の自慢の食材をお届け JA江刺×みのるダイニングコラボフェア開催

みのるダイニングフェザン盛岡店では10月1日(火)～10月31日(木)の間、「JA江刺フェア」を開催します。期間中はJA江刺管内で生産された農畜産物(野菜・肉・米)を提供します。「江刺ひつじ肉のスープカレー」や「江刺りんごハンバーグ」などのフェア限定メニューを提供します。JA江刺産の食材を味わいにぜひみのるダイニング盛岡店へお越しください。

- 実施期間：第1弾 10月1日(火)～10月15日(火)
第2弾 10月16日(水)～10月31日(木)
- 実施店舗：みのるダイニングフェザン盛岡店(岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44)
- 提供食材：トマト、きゅうり、ピーマン、江刺牛、江刺ひつじ肉、ひとめぼれ、りんご
- 提供食材：第1弾 江刺ひつじ肉のスープカレー
グリルトマトハンバーグ
第2弾 江刺牛ステーキ膳
江刺りんごハンバーグ



グリルトマトハンバーグ



江刺ひつじ肉のスープカレー



江刺りんごハンバーグ



江刺牛ステーキ膳

JA江刺

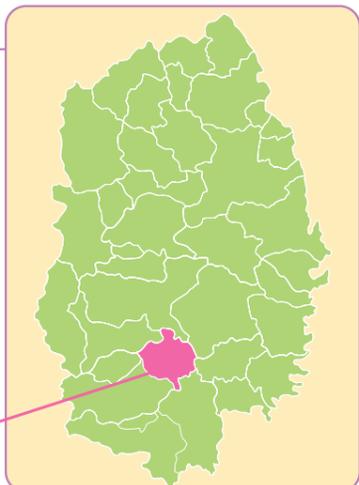
西は北上川流域に拓けた平坦地から、東は北上山系と連なる地形を呈し自然条件に恵まれた豊饒の大地を有しています。温暖な気候は当地区の基幹産業である農業にもっとも適しており、豊かな自然と肥沃な大地、先人の優れた取り組みのもと、「江刺金札米」「江刺牛」「江刺りんご」「江刺野菜」のブランドを確立しています。

地域ごとの土地条件を生かし、この4本柱の農畜産物を組み合わせた複合型農業が江刺農業の特徴です。

純情産地いわての店
みのるダイニングSNS
フェアやメニューの情報を発信中!▶▶▶



JA江刺



県内各地で水田輪作による畑作がなされており、湿害対策として排水性の向上が重要となっています。本会では、農研機構等と連携して「カットブレーカーmini」の施工による排水対策の実証を進めています。今月は施工事例を中心にご紹介いたします。



営農支援部
営農技術課
藤原 靖史

TRY! 営農支援 レポート

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート



「カットブレーカーmini」で 畑作物の排水対策により収量向上を!

V字状にカットすることで、下方への排水性を改良します。20～50馬力のトラクタでけん引し、一般的には圃場の短辺方向に3～5mの間隔で施工します(写真2)。圃場に暗渠(土壌中の過剰な水分を集めて排水路に逃がすために、土中に埋設した管)があると効果が高まり、額縁明渠(圃場内を囲むように掘った溝)と繋げることでさらに排水性が向上します。なお、1回施工すると排水効果は2～3年持続します。

胆沢地域のA法人では、水稲と大豆を輪作しています。地下水位が高く排水性の悪い圃場や、5年ほど前に大区画の圃場整備されたものの、暗渠の施工を待っている圃場があり、排水性の向上が課題でした。石礫の多い圃場でしたが、「カットブレーカーmini」は堅牢な構造のため、粒径30cm程度の巨礫も避けることができ、昨年4月に無事に施工されました(写真3)。令和5年度は暗渠のある圃場と無い圃場に施工し、生育・収量を比較しました。同じく胆沢地域のB法人では施工した圃場としない圃場で生育・収量を比



写真2：A法人大豆圃場での施工
圃場の短辺方向に3～5mの間隔で施工



写真1：カットブレーカーmini
V字刃により心土破碎する

較しました。令和5年度は干ばつにより差が出なかったため、今年度もこの2法人で継続調査しております。

水沢地域のC法人では、北上川の中州で小麦を長期連作しています。砂地と粘土地が混在し、圃場内で排水性のばらつきのある圃場が多い他、長期



写真4：C法人小麦圃場での施工
排水口が消失した圃場で施工



写真3：A法人大豆圃場の石礫
(赤丸箇所)

連作により排水口が消失し、排水機能を失った圃場があります。これらの圃場でも心土破碎による下方への排水性改良が有効と考え、今年8月に「カットブレーカーmini」を施工しました(写真4)。

今年度の結果については今後の営農支援レポートで紹介いたします。本技術にご興味のある方は、「NAROカットブレーカー」でweb検索または、JA全農いわて営農技術課までお問い合わせ下さい。

消費地だより

岩手のりんご、始まりました

「いわて純情りんご」

岩手県オリジナル品種について

今回はお盆明け、年内にかけて出荷販売される「いわて純情りんご」の中でも、他県産では見られない特徴を持った岩手県オリジナル3品種について特集します。

本県産りんごの中でも岩手県オリジナル品種となる「紅ロマン」「紅いわて」「はるか(冬恋)」の3品種は、いわて純情りんごブランドの基幹となる品種です。それぞれ特徴点をご紹介します。

① 紅ロマン

「シナノレッド×さんさ」のかけあわせで生まれ、出荷は8月下旬、9月上旬頃と本県では一番早く出荷される極早生品種。夏の暑さの中でも真っ赤に色づき、甘みと酸味のバランスが良く、岩手のりんごシーズンの訪れを告げるにふさわしいりんごです。

② 紅いわて

「つがる×プリシラ」のかけあわせで生まれた、9月下旬、10月上旬頃の秋口に出回る中生種。外観は濃い紅色をしており、食味は甘みが強く酸味が少ないのがポイント。岩手の秋を彩る華やかなりんごです。

③ はるか(冬恋)

岩手大学滝沢農場で生まれた黄色系品種。出回りは12月上旬頃と本県産りんごの中では一番遅く出荷される晩生種。香り豊かでトップクラスの糖度・蜜入りを誇ります。選果の結果、特に高い水準を満たした果実については「冬恋」ブランドとして販売を行っております。

以上、他では味わえない個性豊かなりんごです。ぜひ店頭で見かけた際は是非手に取ってご堪能いただければ幸いです。



園芸販売センター
中奥 拓真

「JA江刺「紅ロマン」

トップセールスの開催

8月19日(月)に「紅ロマン」が初荷を迎えました。それに合わせて丸毛盛岡中央青果(株)、東京青果(株)、大果大阪青果(株)の3会場にて、「JA江刺「紅ロマン」トップセールス」が盛大に開催されました。東京青果(株)でのトップセールスには産地よりJA江刺の小川組合長、営農推進部駒込次長、りんご部会の小沢部会長らが出席し、代表して小川組合長より「今年の江刺りんごがスタートを切り、紅ロマンの初出荷を迎えました。東京の暑い夏にぴったりな、甘みと酸味のバランスの良い



JA江刺「紅ロマン」トップセールス 試供品配布の様子

真っ赤なりんごに育っています。今後出荷をしていきますのでご愛顧のほどお願いいたします」と買参人へ挨拶をいたしました。挨拶後は、100セット限定で用意した紅ロマンの試供品を場内買参人の皆様へ配布し、紅ロマンの魅力をPRしました。今回のセールスを皮切りに、今期におけるいわて純情りんごの出荷販売が順調にスタートしています。現在もいわて純情りんごのシーズン真っ只中となっておりますが、首都圏でも「いわて純情りんご」のファンを更に獲得できるように頑張っていきますのでよろしくお願いたします。

JA全農いわての純情人

じゅん じょう びと



園芸部
園芸特産課
かまいし たかひろ
金石 鷹宏さん

◎ 趣味・特技

野球、食べ歩き

◎ 現在の担当業務

岩手県の花の販売業務。分からないことが多いですが、JA担当者や先輩方に助けていただきながら頑張っています。

◎ これからどんな職員になってみたいか

花のことをより詳しくなって、生産者と同じ目線で仕事をできる職員を目指しています。また、「いわての花」をもっと盛り上げられる職員になりたいです。

◎ その他アピールポイント

花のお勉強をしにプライベートで圃場を見学しに行きたいと考えています。万が一、圃場を眺めている自分を見かけても、不審者と思って通報しないで頂けると助かります。もし、岩手県内で自分を見かけた方は気軽に話しかけてください!(花についてのお話、世間話、雑談などなんでも大歓迎です!)

いわて純情むすめ

活動報告



IBCまつり2024

令和6年9月7日(土)～8日(日)

滝沢市で9月7日、8日の2日間にかけ開催されたIBC岩手放送主催「IBCまつり」に2024いわて純情むすめが参加しました。

7日には、純情産地いわて応援団長の天津木村さん、お笑い芸人コンビ「スカチャン」とのJA全農いわてステージで会場を盛り上げました。純情産地いわてクイズ大会のコーナーでは、岩手の農畜産物に関するクイズを出題し、正解者にはみのるダイニングのお食事券や岩手県産りんごなどをプレゼントしました。

また、豚経連・牛経連ブースでは、「いわて牛」と「いわて純情豚」を、いわての牛乳ブースでは岩手県産牛乳をPRしました。





もりもり盛って、もりもり食べる！
いわてのおいしさは
健やかな成長を支えてくれるから。
僕のプレーの源は
いつだって、いわて純情米です。

逸材を輩出する 米どころ、いわて。



#朗希もり



編集後記 佐々木朗希投手の身長はなんと192cm!
19.2cmのもりもりごはんの「#朗希もり」にみなさん挑戦してみてください!! (西川)

KLARA タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
 - 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
 - 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

